

平成25年7月18日

総合政策局海外プロジェクト推進課交通プロジェクト室

第2回日インド港湾・物流政策対話の開催結果について

国土交通省及びインド海運省の局長級による会合を開催し、日系企業が多く進出するインド南部地域における物流環境改善のための諸課題について意見交換を行ったところ、結果について以下のとおりお知らせ致します。

<開催概要>

○日時 平成25年7月12日(金)

○場所 インド・チェンナイ チェンナイ港管理組合内

○主な出席者

【日本側】 稲葉 一雄 国土交通省国際統括官(共同議長)、国土交通省担当者ほか

【インド側】 ミシュラ・チェンナイ港管理組合会長(共同議長代理)、海運省、高速道路庁、南部鉄道、エンノール港公社、タミルナドゥ州道路開発公社、インド港湾協会 他

<会合の結果>

1. 南部港湾設備の整備

- ・ インド側から、インド南部のチェンナイ港・エンノール港の整備拡張や周辺道路整備のプロジェクトについて、最新状況の説明がありました。これに対し、日本側から、完成車積み出し施設の可及的速やかな整備の必要性について指摘しました。

2. 完成車の鉄道輸送制度

- ・ 日本側から、インド国鉄が実施する完成車鉄道輸送制度の進捗を評価するとともに、関連インフラの整備や利用料の引き下げに一層の期待感を示しました。

3. インド国鉄の信号近代化

- ・ 日本側より鉄道の信号近代化による輸送力向上についての調査結果を示し、日本の信号技術の活用への期待を示しました。インド側は、信号近代化の対応状況について説明するとともに、日本企業の参入を歓迎する旨発言がありました。

4. 南部物流回廊のボトルネック解消

- ・ インド南部地域の物流環境について調査した実証調査の結果を共有し、道路及び鉄道における改善すべき課題について確認しました。またインド側から、南部港湾への接続道路について、工事の進捗状況の説明がありました。

また、次回の政策対話は、2014年初めに日本で開催することで合意しました。



会合の様子

連絡先:総合政策局海外プロジェクト推進課
交通プロジェクト室
参事官 長谷川 武
海外プロジェクト推進官 山岸 浩一
電 話:03-5253-8111(内線 25911、25912)
直 通:03-5253-8315
F A X:03-5253-1562